



創刊 19 周年を迎える本誌「パースエクスプレス」の記念号特集では、「パースとの発見」をお届けします。

昨年の 18 周年記念号では、18 周年 = 18 歳 → “門出” とし、より良いパースでの門出を紹介しました。そして、19 周年 = 19 歳では、節目の 20 歳を目前として、まだ知られていないものを見つけ、わからなかった存在を見出す“発見”を提案します。

そこでまず、オーストラリアにて国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) によって登録された自然や建造物の世界遺産が、実は「19」あり、オーストラリアにおける先人たちのその“発見”を紹介します。そして、本誌が誕生した「19」年前と今をオーストラリア・パースと日本の写真や情報で遡り、時代の移り変わりを見て“発見”を感じ、さらにパースで新たな自分“発見”をしてもらえるような「19」のヒントを提案します。今記念号特集で、ぜひ読者の皆さんと新たな気付き = “発見”を手に入れられればと思います。

THE PERTH EXPRESS
Japan Australia Information Link Magazine

Japan Australia Information Link Magazine
- The First Edition 15th February 1998

Imanari Media Corporation Pty Ltd ABN: 29 121 633 092
66 Parry Street Perth WA 6000 P.O. Box 8717 Perth BC WA 6849
Tel: 08 9228 0209
info@thepertexpress.com.au www.thepertexpress.com.au

**Publisher
Editor in Chief**
Yasuo Imanari

Editorial Staff
Erika Nishimura

**Contributing
Writers**
Chad Mullane
junchang
Hiromi Nakamichi
Kazutaka Maejima

Design Staff
Yuta Yamamoto

Account
Kumi Igarashi

パースエクスプレス創刊19周年記念号にあたり

本誌「パースエクスプレス」は、今号で19周年を迎えることになりました。今までご愛読頂きました読者の皆様、ご協賛頂きました各社スポンサーの皆様から心からお礼申し上げます。1998年2月に創刊号を発行して以来、毎年2月号は創刊記念号としてお届けし、その際の各記念号のタイトルには、本誌が志すその1年の表題ともなってきました。以下が、タイトルの変遷です。

1999年2月号 1周年記念号タイトル:『パースへの挑戦』	2006年2月号 8周年記念号タイトル:『パースからの飛躍』	2012年2月号 14周年記念号タイトル:『パースへの初志』
2000年2月号 2周年記念号タイトル:『パースへの探究』	2007年2月号 9周年記念号タイトル:『パースへの漸進』	2013年2月号 15周年記念号タイトル:『パースへの御礼』
2001年2月号 3周年記念号タイトル:『パースへの静観』	2008年2月号 10周年記念号タイトル:『パースへの高翔』	2014年2月号 16周年記念号タイトル:『パースへの結実』
2002年2月号 4周年記念号タイトル:『パースへの示唆』	2009年2月号 11周年記念号タイトル:『パースとの躍進』	2015年2月号 17周年記念号タイトル:『パースへの特別』
2003年2月号 5周年記念号タイトル:『パースへの感謝』	2010年2月号 12周年記念号タイトル:『パースへの先駆』	2016年2月号 18周年記念号タイトル:『パースとの門出』
2004年2月号 6周年記念号タイトル:『パースに宣言』	2011年2月号 13周年記念号タイトル:『パースへの展望』	2017年2月号 19周年記念号タイトル:『パースとの発見』
2005年2月号 7周年記念号タイトル:『パースからの幸運』		

チャレンジが始まり、探し求め、一度は冷静になりながらも、進言する。感謝を忘れずに、次のステップを提案。幸運を授かり、飛び立ち、一步一步踏みしめ、更に高みを目指し、躍り出る。先んじて、見渡しながらか初志を確かめ、今までに礼を尽くし、実を結ぶ、無二となる。そして、新たな出発で、発見と出会う。

今号で本誌は創刊以来、丸19年となり、本誌はその19年間をパースと共に歩んできました。20年といった節目になる来年を前に、まだまだ初心を忘れずに発見に触れるためにも、今記念号のタイトルを「パースとの発見」とし、今後も引き続き読者やスポンサーの皆様へ“発見” = “新しい情報”をご提供できるよう尽力する所存です。最後にこの場を借り、創刊号から現在まで多くの編集、デザイン、営業スタッフが本誌制作に力を注いでくれました。心から感謝の意を表します。

発行人/編集長 今城 康雄